

令和元年度第1回沖縄県がん診療連携協議会情報提供・相談支援部会議事要旨

日時：令和元年5月30日（金）14：00～16：50

場所：琉球大学医学部附属病院3階がんセンター

出席者：〈がんセンター〉8名

傳道聡子（県立中部病院）、仲宗根恵美（那覇市立病院）、仲宗根るみ（北部地区医師会病院）、金城美奈子（八重山病院）、島袋百代（パンキャンジャパン沖縄アフィリエイト）、樋口美智子（沖縄国際大学）、大久保礼子（琉球大学医学部附属病院）、山田綾美（琉球大学医学部附属病院）

〈Skype参加〉1名

慶田博子（県立宮古病院）

陪席者：1名 屋良尚美（県立中部病院）

欠席者：1名 増田昌人（琉球大学医学部附属病院）

【報告事項】

1. 平成30年度第4回沖縄県がん診療連携協議会情報提供・相談支援部会議事要旨

資料1に基づき、平成30年度第4回沖縄県がん診療連携協議会情報提供・相談支援部会議事要旨が承認された。

2. がん患者ゆんたく会（1月～3月）

資料2-1～2-3に基づき、平成31年1～3月に各拠点病院にて開催されたがん患者ゆんたく会について報告があった。那覇市立病院では、座学単一だけでなく、「栄養と運動」などの体験型も組み合わせたプログラムを取り入れたいと課題が挙げられた。琉大病院は、2月からフリートークのスタイルを小グループで話ができるように変更したと報告があった。八重山病院は、院外でのゆんたく会は開催されているが、院内サロンはまだ立ち上がっておらず、思案中であると報告があった。パンキャンジャパン沖縄では、昨年7月より赤十字病院で膵癌患者会を2か月に1回行っており、毎回10～15名の参加者がいる。遠方からの患者さんや他院の医師、ボランティアの参加もあり活発であり途切れがないと報告があった。宮古病院では、定期的にサロンは開催しているがほとんど参加者がいなく、患者さん同士が集まって話をする機会がないと報告があった。北部地区医師会病院は、定期開催は行っていないが話したいという患者さんがいれば開催したいと報告があった。

サロンの開催方法としてがん種ごとの開催の方が望ましいという意見があり、一つの病院で複数のがん種のサロンを運営するのが難しい場合には、各病院で分担等して開催することも検討することとなった。

3. がん相談件数（1～3月）

資料 3-1～3-7 に基づき、平成 31 年 1～3 月の各拠点病院のがん相談件数について報告があった。

北部地区医師会病院では、集計方法を見直し相談件数が 20 件を超えるようになったと報告があった。

県立中部病院は、2 月にメインシティで出張相談を開催し、院外での相談が多くなったと報告があった。

那覇市立病院では、院外からの相談はなく、相談内容については、在宅医療・ホスピスについての相談が増えてきていると報告があった。

県立宮古病院では、担当医からの紹介が増えてきている傾向にあると報告があった。

県立八重山病院では、患者さんが直接相談に来ることもあるが、相談員から介入することが増えてきている。社労士へ繋げたいケースは多々あるが、専門家への相談を患者さんは希望されず、なかなか繋がらない状況にあると報告があった。

琉大病院では、院外からの相談は 2 割弱であるが少しずつ増加しており、1 回限りの相談も 6 割程度と多く、繰り返しの相談の場合は在宅療養に関する内容が多い傾向にあると報告があった。

4. がん相談件数集計（1～3月）

資料 4 に基づき、山田委員より平成 31 年 1 月～3 月の沖縄県がん相談件数集計について報告があった。全体集計においても、社会的な相談、ホスピスの相談が多い傾向にある。まずは、課題となっている相談支援センターの周知や院内誘導の方法を含め自院の患者さんにしっかり対応できるよう検討し、比較的少ない院外の相談については、今後引き続き課題とする。

5. がん相談支援センターの広報

資料 5 に基づき、山田委員よりがん相談支援センターの広報について報告があった。文言について掲載内容変更の依頼をし、2 月から変更された。引き続き、2 社へ依頼を行うこととなった。

6. PDCA チェックリスト

資料 6 に基づき、大久保委員より平成 30 年度沖縄県がん相談支援センター PDCA 実施状況チェックリストについて報告があった。個別の症例に関する院内活動はほぼできているが、地域での市民向け・医療従事者向け研修会など、院外での活動は対応ができていない状況にある。前年度までのチェックリスト項目に変更があったため、今年度からは新しい項目でチェックしていくこととなった。

7. その他

(1) 都道府県情報提供・相談支援部会

別添資料に基づき、大久保委員より都道府県情報提供・相談支援部会について報告があった。PDCA チェックリストの変更、小児・AYA 世代への対応で小児拠点病院との連携のあり方、がんゲノム医療拠点病院の機能やがん相談支援センターでの対応方法等について報告・協議が行われたと報告があった。

(2) 第5回がんサロンネットワーク会

当日資料に基づき、山田委員より第5回がんサロンネットワーク会について報告があった。AYA 世代への支援をテーマに若年性がん患者支援団体 STAND UP!!の代表を招き、講演を行った。今回は県内がんサロンの世話人だけでなく、教育関係者や就労支援団体からの参加もあり意見交換が行われたと報告があった。次年度も講演会を交えたがんサロンネットワーク会を開催することを検討する。

【協議事項】

1. 部会委員の選定について

資料7に基づき、部会長・副部会長の選定が行われた。部会長に大久保委員、副部会長に仲宗根恵美委員・傳道委員が承認された。

部会長 琉大病院 大久保礼子

副部会長 那覇市立病院 仲宗根恵美、県立中部病院 傳道聡子

2. 平成31年度部会計画（全体）

資料8に基づき、大久保委員より平成31年度部会計画（全体）のそれぞれの施策における実施項目について提案があり承認された。

3. 平成31年度部会計画（各施設）

資料9に基づき、平成31年度部会計画（各施策）について協議が行われた。

【施策3】①がん相談員実務者研修会

各拠点病院1回ずつ持ち回りで今年度は計3回の研修会を開催することとなった。琉大病院と県立八重山病院、那覇市立病院と県立宮古病院、県立中部病院と北部地区医師会病院がそれぞれペアで企画を行うこととなった。日程やテーマについては、後日それぞれで検討する。相談員の質の保障（自己評価方法）、院内連携のあり方等がテーマの候補に挙げられた。また、琉大病院で取りまとめ各研修を国がんの「認定がん相談員」教育研修Ⅲ群1単位登録をするため、研修企画の2か月前には連絡するよう周知があり、申請に必要な書類等について適宜連絡することとなった。

【施策 3】 ②がん相談員のマニュアル

がん相談員の交代があることを踏まえ、対応の質の担保を目的に、各病院の内規等が記載できるフォーマットを作成し、各病院ごとの相談員マニュアルを作成する。後日、共通項目を取りまとめ県内統一版のがん相談員マニュアルを作成することとなった。

【施策 4】 ①がん患者サロンネットワーク会

今年度は患者会サロン運営者間の連絡体制を強化することを目的に、世話人同士の連絡会を 2 回程度に増やして開催し、加えて例年通り講演会・フリートークを 1 回の計 3 回程度開催することが承認された。運営については島袋委員・琉大病院を中心に進め、テーマ等については随時検討していくこととなった。講師の謝金等については琉大病院が負担する。

4. がんサポートハンドブック活用状況のアンケート結果について

資料 10 に基づき、琉大病院がんセンター事務の東さんよりがんサポートハンドブック活用状況のアンケート結果について報告があり、がんサポートハンドブックの周知方法について改善案がほしいと説明があった。調剤薬局への設置、県内病院への定期的な周知、各施設への配送先の検討、上手く配布出来ている病院の工夫を伺う等の意見があった。

5. その他

(1) 次回、令和元年度第 2 回情報提供・相談支援部会開催日について

令和元年 7 月 25 日（木）14：00 より開催することとなった。